

# 令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人アジアの水と循環型農業

## (1) 学校法人アジア学院との事業連携の実施

栃木県那須塩原市にある アジア、アフリカ、中南米、太平洋諸国の農村指導者のリーダー研修を実施する、学校法人アジア学院との連携事業を行いました。

### 【アジア学院について】

1973年、アジアの農村指導者を養成する専門学校として設立。鶴川学院農村伝道神学校（東京都町田市）の東南アジア科を母体としており、日本および欧米のキリスト教会やその他の団体の支援によってその歩みを始めました。アジア学院は途上国の農村開発に携わる人材を養成する国際機関として発足しました。その目的は、東南アジア諸国ですでに農村開発に携わっていたキリスト教会とキリスト教団体の要請に応えるとともに、宗教的背景の異なる農村指導者をも学生として招くことでした。1996年以来、国内外を問わず将来農村のコミュニティに仕えることを志す日本人も「学生」として積極的に受け入れています。

アジア学院は設立当初から国内外の若い人々を積極的に受け入れ、農作業、スタディキャンプ、国際交流といった機会を提供しています。今までに学院を訪れた方の数は何千、何万にも及びます。このようにして学生や一般の方、支援者、パートナーに向けて学院の価値観を伝え、持続可能で平和な世界を創り出してきた経験を分かち合っているのです。

### ● ワークショップを実施しました。

2022年8月22～23日にアジア学院・農業指導拠点である栃木県那須塩原市にて「水撃ポンプ（ラムポンプ）」の動作原理のレクチャー及び組み立て実習のワークショップを実施しました。

### 【実習対象】

#### 本科生32名・14カ国の農業指導者

(グアテマラ・ルワンダ・ナイジェリア・ベトナム・バングラデシュ・マレーシア・インド・エチオピア・ガーナ・ウガンダ・ケニア・インドネシア・コンゴ・日本)

#### 研究生5名・同校のトレーニングアシスタントおよび卒業生インターン

(インドネシア・ネパール・日本)







- ミャンマーのNGOへ水撃ポンプサンプルを送付しました。  
 同学院を通じて知り得た「水撃ポンプ設置プロジェクト」（ミャンマーの貧困地域へのラムポンプ100機設置プロジェクト）において実用的なポンプを探しているとの情報を得て、現地に向けて当法人が開発した水撃ポンプのサンプルキットをNGOに向け出荷した。ただし同国は政治情勢が不安定なため、隣国と国境を接する避難地域に向けての出荷となった。

(2) 設立年度の改題を以下実施した

- 支援組織づくり  
 正会員との定期的な（月1回）面接を通じて活動についてビジョンについてなどの認知活動を実施した。
- 事業広報  
 法人の実施事業に係る情報を公式ホームページ等を通じて広報した。  
 多言語化へは次年度へ持ち越す。
- 情報収集活動  
 CSV活動を通じてミャンマーの無電化地域への支援をしている、和歌山県御坊市に本社を置く企業（紀南電設株式会社）の活動の情報を収集した。

## 1. 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施月	実施場所	対象者	収益 (千円)
(1) 資源循環型農業の普及促進を通じて、貧困地域に暮らす人々の自立を促進する活動。	アジア学院に日本の有機農業の勉強に来る、来期留学生のために、水撃ポンプの説明資料やビデオの資料の準備及びアジア学院内での研修の実施。	2022年8月実施	法人内 アジア学院	本科生32名・14カ国の農業指導者及び研究科生5名・同校のトレーニングアシスタントおよび卒業生インターン	0
(3) 水及び農業問題についての情報提供および技術教育を支援する活動。	ミャンマーへの水撃ポンプ設置プロジェクトに係るサンプル品の出荷	2022年12月出荷	ミャンマー 海路にて送付	アジア学院 連携NGO	0
(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	情報収集活動 対象地域へのCSR※やCSV※活動を行う日本法人または現地法人の活動概要の情報を収集する。	年度内	法人内	国内外のCSR・CSV活動法人	0

※CSR：“Corporate Social Responsibility”「企業の社会的な責任」事業を実施する企業

※CSV：“Creating Shared Value”「共通価値（共有価値）の創造」社会貢献につながるビジネスを通して企業としての利益を上げることを目指す企業